

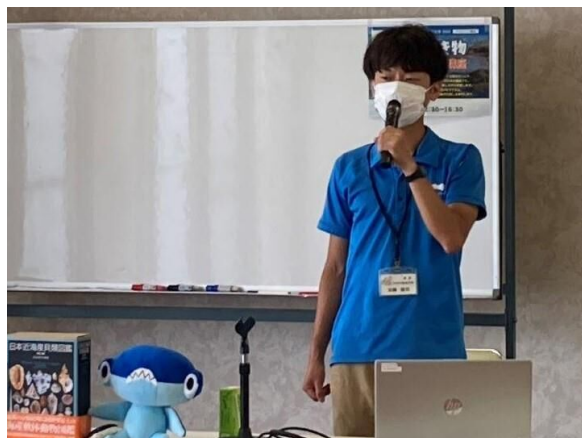
海の生き物観察力向上講座 開催しました！



- 日時 令和4年7月10日（日）12：30～15：30
- 会場 大川オアシス、青木海岸（さぬき市津田町鶴羽）
- 講師 加藤 健司 氏（四国水族館 飼育展示部 海獣課）

7月10日（日）に、大川オアシス、青木海岸にて、「海の生き物観察力向上講座」を開催し、12名が受講しました。はじめに、観察テーマについての紹介がありました。テーマは3つで、①ヒメベンケイガニを探すこと②ヤドカリ三種を見分けること③キタフナムシを探すことが挙げられました。

次に、それぞれの生物の見分け方についての解説がありました。ヒメベンケイガニはカキや海藻に隠れて生活し、とても小さく素早いため、見つけるのが難しいというお話がありました。ホンヤドカリ、ヨモギホンヤドカリ、ケアシホンヤドカリを見分ける際には触角の色、歩脚の縞模様、活動時期を参考に見分け、さらにそれらと見分けのつきにくいホシゾラホンヤドカリの紹介など、専門家ならではのお話に受講者は興味津々な様子でした。



その後、観察場所である青木海岸に移動しました。講師より、観察する上での注意事項を聞いた後、磯での生物調査を行いました。磯にはたくさんの種類の生き物が生息しており、その中でも特にフナムシが多く見られました。フナムシはとても素早く、岩の下に逃げるフナムシを捕まえるのに受講者たちは苦戦している様子でした。そして、捕まえたフナムシの触角の長さを調べ、キタフナムシかどうか観察しました。

また、ヒメベンケイガニはとても小さく、発見するまでに苦戦しましたが、岩場の海藻をかき分けるとたくさんのヒメベンケイガニが生息していることが分かりました。

ヤドカリはとても小さく、種類を見分けるのが難しいため、採取したヤドカリを受講者どうしでコミュニケーションを取りながら種類の確認をしたり、講師の説明を聞いたりしながら観察を行いました。



1時間ほど調査を行った後、受講者が採取した生き物を発表しました。マダラウミウシ、テッポウエビ、ヨロイイソギンチャク、ウスヒラムシ、メリベウミウシなど珍しい生き物がたくさん採取出来ました。採取した生き物は、観察後に海へ返しました。



大川オアシスに戻り、振り返りとまとめを行いました。今回の観察調査では、ヒメベンケイガニ、ホンヤドカリ、ケアシホンヤドカリは発見できましたが、ヨモギホンヤドカリとキタフナムシは発見できませんでした。

最後に、受講者に修了証をお渡ししました。受講後のアンケートでは、「ヒメベンケイガニなど、探す生き物があると目的があって楽しめました」、「専門家ならではの知識や視点が面白かった」などの感想がありました。